

富良野・美瑛広域観光推進協議会の取り組み
～官民連携で、広域観光開発、二次交通充実の取り組み～

POINT

- ・ 地域自治体、観光協会、運輸関係組織、農業共同組合等が協議会を構成
- ・ 夏季、冬季にそれぞれ、季節にあわせた周遊コースを設定
- ・ 地元運輸業者と連携し商品化、持続的に事業を継続する試み

北海道地区は、二次交通手段としてマイカー、レンタカー、タクシー、都市間移動バス、JR北海道が選択肢して考えられるが、年間80万人が訪れる訪日観光客も含めた訪問客の要望に応えるためには、その80%が千歳空港を利用している中で、一次交通着地からの国内客、訪日客向けに多様な二次交通手段¹を整備する必要がある、北海道観光推進機構が、広域観光推進事業の一環として、二次交通関連の支援を行っている。

特に、富良野・美瑛広域観光推進協議会は、富良野・美瑛地域観光圏整備計画(2013～2017)の中で、めざすべき方向性として、二次交通の改善と多様化を挙げている。

<取組の概要>

□富良野・美瑛広域観光推進協議会の活動

富良野・美瑛地域は、雄大で美しい自然観光のもと、開拓からの知恵と努力による農林業を基盤に、全国有数の農業地として発展してきた。富良野・美瑛広域観光推進協議会は、地域内の誘致を目的に平成6年に広域6市町村、および各観光協会並びに本目的に賛同する機関、団体で構成し、広域のスケールメリットを活かした宣伝誘客と観光振興を行う協議会として発足した。

□富良野・美瑛地区の二次交通について

道外からのこの地域のアクセスとしては、旭川空港から北側の美瑛までは、30分、新千歳空港から区域の南側までは1時間であり、その他、釧路空港、女満別空港ルートでのアクセスもある。

着地型の交通としては、夏期は、JR富良野駅を出発して市内の主要観光地を巡回するバスを日6本、冬期はスノーリゾート⇄市街地を結ぶバスを日5本運行し、そのバス運行についての告知用ツールでJR北海道の車内などで、広くPRを行うことで地域内での二次交通の一本化と見える化を図りスムーズな移動を促している。

さらに、訪日外国人旅行者の増加に伴い、観光案内における多言語化は、必要不可欠な要素となっていることから、案内業務はもちろん、パンフレット、ロードマップ等に

¹ 北海道観光の現況 2017年版引用 外国人観光客の移動手段 鉄道 50.9% 観光バス 51.5% 路線バス 22.0% レンタカー 19.8%

ついで多言語化し、観光地間の効率的な周遊を図っている。

2018年4月28日▶10月8日

JRで行く 富良野・美瑛2018

キャンパスは大地、自然が描く四季の彩り。

富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。JR北海道の観光バス路線と、富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。JR北海道の観光バス路線と、富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。

富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。JR北海道の観光バス路線と、富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。

JR 北海道車内パンフレット表紙

富良野・美瑛観光周遊バス案内表紙 (英語版)。観光周遊バス案内表紙 (英語版)。

富良野・美瑛観光周遊バス案内表紙 (英語版)。観光周遊バス案内表紙 (英語版)。

富良野・美瑛観光周遊バス案内表紙 (英語版)。観光周遊バス案内表紙 (英語版)。

富良野・美瑛観光周遊バス案内表紙 (英語版)。観光周遊バス案内表紙 (英語版)。

観光バス周遊コース案内

JRと地域のバスを組み合わせでバリエーション豊かな夏の旅!

富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。JR北海道の観光バス路線と、富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。

富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。JR北海道の観光バス路線と、富良野・美瑛地区の観光地を効率的に周遊するための観光周遊バス案内表紙。

富良野美瑛地区着地交通案内

Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。

Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。

Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。

Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。Biei View Bus 案内表紙 (英語版)。

美瑛観光 英語版案内

□広域観光推進事業

ふらの観光協会が夏季に、北海道観光推進機構の広域観光推進事業負担金を原資として、富良野市内周遊の「ふらのくるるパス」を実施している。

鉄道の地方沿線の活性化を目的とした新たな観光商品の開発がテーマとなっており、特に東アジア方面からのインバウンドを中心とした、JRを一次交通として地域での移動手段を持たない国内外の観光客をターゲットとしている。

2018年は、7月10日から8月10日までの期間限定で、2コースを設定し域内の観光コースを巡回するプログラムを提供している。昨年度は、期間中に大人1,766枚、子供123枚の合計1,899枚の利用があった。2018年度は、2,000枚の販売を目指している。

富良野の人気スポットをまわる！ 【運行バス会社:ふらのバス(株)】

ふらのくるる号

富良野駅横の富良野・美瑛広域観光センター(観光案内所)やふらのくるる号車内で発売します。
お問い合わせは、(一社)ふらの観光協会 TEL:0167-23-3388
※ JR北海道の駅のみどりの窓口、ツインクルプラザではお買い求めできません。

運行日 2018年7月10日(火)～8月10日(金) <平日のみ運行>

彩りコース

料金: おとな **2,000円**
こども1,500円

まるごと編みコース

料金: おとな **3,000円**
こども2,500円

※予約は不要です。 ※当日は予約なしでも乗車可能ですが、乗車券は必ずお持ちください。 ※各駅の入場料は含まれておりませんが、別途料金が必要な場合があります。 ※乗車料金は乗車前にお支払いください。

～富良野・美瑛・旭川 観光スポット情報～

<p>【中富良野・中富良野町営ラベンダー園】</p> <p>中富良野町のシンボル「北星山」にある町営ラベンダー園。観光リフトを利用し、頂上の展望スペースからは「一面に広がるラベンダー畑」をご堪能いただけます。</p>	<p>【中富良野・ファーム富田】</p> <p>ラベンダー観光農園の地。四季折々の多彩な花々や、ラベンダーソフトクリーム・石鹸・香水等のオリジナル商品もあり、中富良野必見の大人気スポットです。</p>	<p>【上富良野・日の出公園ラベンダー園】</p> <p>上富良野の高低いびだに広がるラベンダー園。展望台からはラベンダー畑、十勝連峰を望むことができます。</p>
<p>【美瑛・白金青い池】</p> <p>美瑛・白金にある神秘的な青い池。神秘的な青は天候によって風情を変えます。あなたは何色「青色」に出会えるでしょうか?</p>	<p>【美瑛・四季彩の丘】</p> <p>雄大な大雪山連峰と丘の景色を背景に、春から秋まで様々な種類の花畑が楽しめます。</p>	<p>【富良野・ニンゲルテラス】</p> <p>米々に囲まれ、木漏れ日の中、ショッピングを楽しむことができます。目が覚めれば、やさしくライトアップされた、ロマンチックな演出となります。</p>
<p>【旭川・旭山動物園】</p> <p>国内外から多くの方が訪れる、日本最北の動物園。行動展示により、生き生きとした動物の姿を見ることが出来ます。</p>	<p>【旭川・あさひかわ北彩都ガーデン】</p> <p>旭川南口直轄のイングリッシュガーデン。約300種類の植物が植えられた庭園からは、忠別川と大雪山の雄大な姿を望むことができます。</p>	<p>【旭川・ソラマチマーケットRASORA平和通店】</p> <p>「MADE IN NIPPON」がテーマの土産物店。ご当地菓子やこだわりの食品、雑貨など、旭川をはじめとする北海道を代表する商品を取り揃えています。</p>

ふらのくるる号

□まとめ

富良野・美瑛観光圏は、観光庁の観光圏整備実施計画認定地域に指定を受けており、区域には、美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村の6市町村があり、前述のとおり、平成6年から、「富良野美瑛広域観光推進協議会」を6市町村で設置し、JR北海道、航空各社、各地農業組合なども参画し、広域観光を推進している。

平均宿泊数、消費単価、満足度の向上など目標を設定して、事業を実施しているが、受け入れ環境の整備として、二次交通の充実が必須となっている。

特に今後インバウンド観光客が増加しているなかで、多言語化対応等課題への対応を進めているが、レイルパスを使った訪日客に着地における利便性、情報の的確な提供は、満足度の向上につながり、持続的に訪日客を増やしていくためにも必要である。

田園休暇を謳い文句にかかげる、アジアでも屈指の美しい田園風景と美しい花々に囲まれたこの癒しの地域に一人でも多くの観光客に訪れてもらうためにもストレスフリーの二次交通整備が求められている。